



生活の中で、  
見えない学力をつけよう

- ①読書は「見えない学力」を高めます。
- ②国語辞典・漢和辞典や図鑑を身近に置いて調べよう。
- ③連絡帳や日記などを書くときは、習った漢字をどんどん使おう。
- ④日本地図・世界地図を身近に置いて調べよう。
- ⑤ニュース番組を親子で見ると話し合おう。
- ⑥小学生新聞など、新聞を読もう。
- ⑦アルゴや将棋・囲碁など、頭を使うゲームをしよう。
- ⑧百人一首など伝統的な言語文化に親しみ、朗読や暗唱をしよう。
- ⑨自然や生き物とふれあい、くわしく観察しよう。
- ⑩家の仕事をすすんでやろう。

## 6年生 中学校生活に期待を抱き小学校の総まとめ

- ①小学校で習得すべき漢字1006字のおおよそが読めたり書けたりする
- ②文章の組み立てを考え、自分の考えを正しい文章表現で書ける。
- ③文章や資料を読んだり、観察をしたりして得られた自分の考えを、相手に伝えるように表現できる。
- ④人物を中心に日本の歴史のまとまりやつながりがわかり、おおよその出来事について説明できる。
- ⑤日本国憲法や日本の政治（三権分立）など、現代社会のおおよその仕組みが説明できる。
- ⑥日本とつながりの深い世界の主な国について、名称や位置が分かる。
- ⑦円の面積及び角柱などの体積や、速さを求めることができる。
- ⑧分数のかけ算・わり算を使って、問題がとける。
- ⑨比や比例の意味が分かり、文字を使ってその関係を式に表すことができる。

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとても大切なものです。小学校のうちに形成した机に向かう習慣は、後々の学力に大きな影響を与えます。  
家庭と学校で連携して、家庭学習の習慣化をめざしましょう。

### 学習時間のめやす

10分×学年＝めやす時間

低学年：10～20分

中学年：30～40分

高学年：50～60分

## 4年生

### 伸びる子と伸びない子の分岐点

- ①200字の配当漢字のおおよそが読めたり、書けたりする。
- ②ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ④国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
- ⑤わり算の筆算、小数のたし算・ひき算・かけ算・わり算、分母が同じ分数のたし算ひき算ができる。
- ⑥分度器を使って角度を測ったり角をかいたりできる。

## 5年生

- ①185字の配当漢字のおおよそが読めたり、書けたりする。
- ②簡単な古文や漢文などの名作を音読できる。
- ③小数同士のかけ算・わり算ができる。
- ④倍数・約数を理解して、分数のかけ算・わり算、異分母分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤割合・百分率・平均などの意味を理解し問題が解ける。
- ⑥パソコンでローマ字入力ができる。
- ⑦いろいろな実験結果から、その結果とわかったことが言える。
- ⑧世界の大陸と海洋、主な国の名称と位置がわかる。
- ⑨地球儀を使って調べられる。

## 1年生

### 意欲と習慣定着への出発点

## 2年生

## 3年生

- ①鉛筆を正しく持って字が書ける。
- ②ひらがな・かたかなが読めて書ける。
- ③助詞(を・は・へ)を適切に使い分けて文章が書ける。
- ④80字の配当漢字のおおよそが読めたり、書けたりする。
- ⑤たし算・ひき算ができる。
- ⑥時計を見て、何時何分が読める。

- ①160字の配当漢字のおおよそが読めたり、書けたりする。
- ②順序よくお話をすることができる。
- ③時刻と時間の違い、午前と午後の区別がわかる。
- ④九九がすらすら言える。
- ⑤筆算をきれいに書きながら計算できる。
- ⑥決められた長さの直線を正しく引ける。
- ⑦簡単なかさや長さの単位がわかる。

- ①200字の配当漢字のおおよそが読めたり書けたりする。
- ②簡単な単語についてローマ字で読み書きできる。
- ③短い詩や百人一首などを暗唱できる。
- ④国語辞典を使うことができる。
- ⑤わり算ができる。
- ⑥かけ算の筆算ができる。

## 家庭学習のかなめ

「高麗川っ子5つのがんばり」もお読みください

- 学力アップは規則正しい生活から
  - 早寝・早起き ○朝食は必ずとる ○朝の排便 ○テレビとゲームは1日90分以内(月に1日見ない、やらない) ○決めた時間に机に向かう
  - 手伝いをする ○自分からあいさつ ○自分で時間割や学習用具をそろえる ○学習用具に記名する(えんぴつ、けしゴム、定規など)
- 学習に集中する四つのポイント
  - 学習するときはテレビを消す ○机の上をきれいにしてから学習する ○よい姿勢で机に向かう ○丁寧な字で書く
- やる気を引き出す家庭の協力
  - 学習に集中できる環境作り ○できるだけ毎日、学習したことに目を通し、声をかけてほめたり励ましたりする
  - NGワードは我慢する:「何回言ったらわかるの」「この前だって...」「あとで困っても知らないわよ」「きょうだけよ」etc